



梅の花ほころぶ（上揚・坂本梅林）

うたごよみ
— 弥生 —

〔短歌〕

渡辺幸士 選

遙かなる異国に住む娘と声つなぎ新年祝がん
孫も曾孫も
上村 かず

ゆつくりとストーブの上の葉罐沸くゆらげる
湯気の音暖かき
吉永由紀子

「あられたな」何時も優しい声かけて迎えた
叔母も今年七回忌
上村やす美

なかなか雪見ぬ土地に住みおれど綿雪降り
て「ゆーきゃこんこ」
内山タミエ

大寒を迎えて寒さ厳しくもはや露の曇顔を出
したり
緒方 明美

立ち上がり川面にけむる朝靄に変わる景色の
岸の向こうよ
赤星 延子

新しく年移りゆく夜の更けに夫を寝かせて独
り酒酌む
塚原 暁益

笑顔とう山茶花ピンクに咲き満ちて「もうす
ぐ春よ」と老いを励ます
本田富美子

院内でりハヒリ励む老い吾等楽しく真顔で愛
らしくあり
松本ぬい子

いつまでも若いつもりである吾に年齢通り写
真は見する
内田乃武子

バスツアー乗客全て二人連れ吾は車窓の景色
見ている
渡辺 幸士

〔川柳〕

渡辺幸士 選

〔カレンダー〕

八十花を思いつ日毎曆繰る
丸岡はる子
カレンダー誕生日には二重まる
早 彦喜
カレンダーに声かけ今朝の第一歩
緒方 瑞枝
カレンダー川柳デーと丸を書く
伊豆野ヤエ
命日のない月は無しカレンダー
布田 愛子

〔入れ歯〕

婆ちゃんの入歯見付けたお仏壇
北 仁子
痛みとも別れ今日から総入れ歯
林 雅之
寒波襲来入れ歯飛び出す大くしゃみ
成松 松枝
入れ歯して老いの楽しみ食べ歩き
渡辺 幸士

〔俳句〕

もぐら打ちの藁ニタ三すじ朝の庭
田端 慶子
曾孫らの跳んで喜ぶお年玉
高田れい子
遠き子の年賀の言葉受話器より
堀田 孝恵
被災地に早く春をと祈りたき
古田 幸子
懐かしく繰り返し読む年賀状
本田 信子
芦枯れて切絵のような二日月
楠本 美鶴

■お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局
☎096・234・2447（内線321）